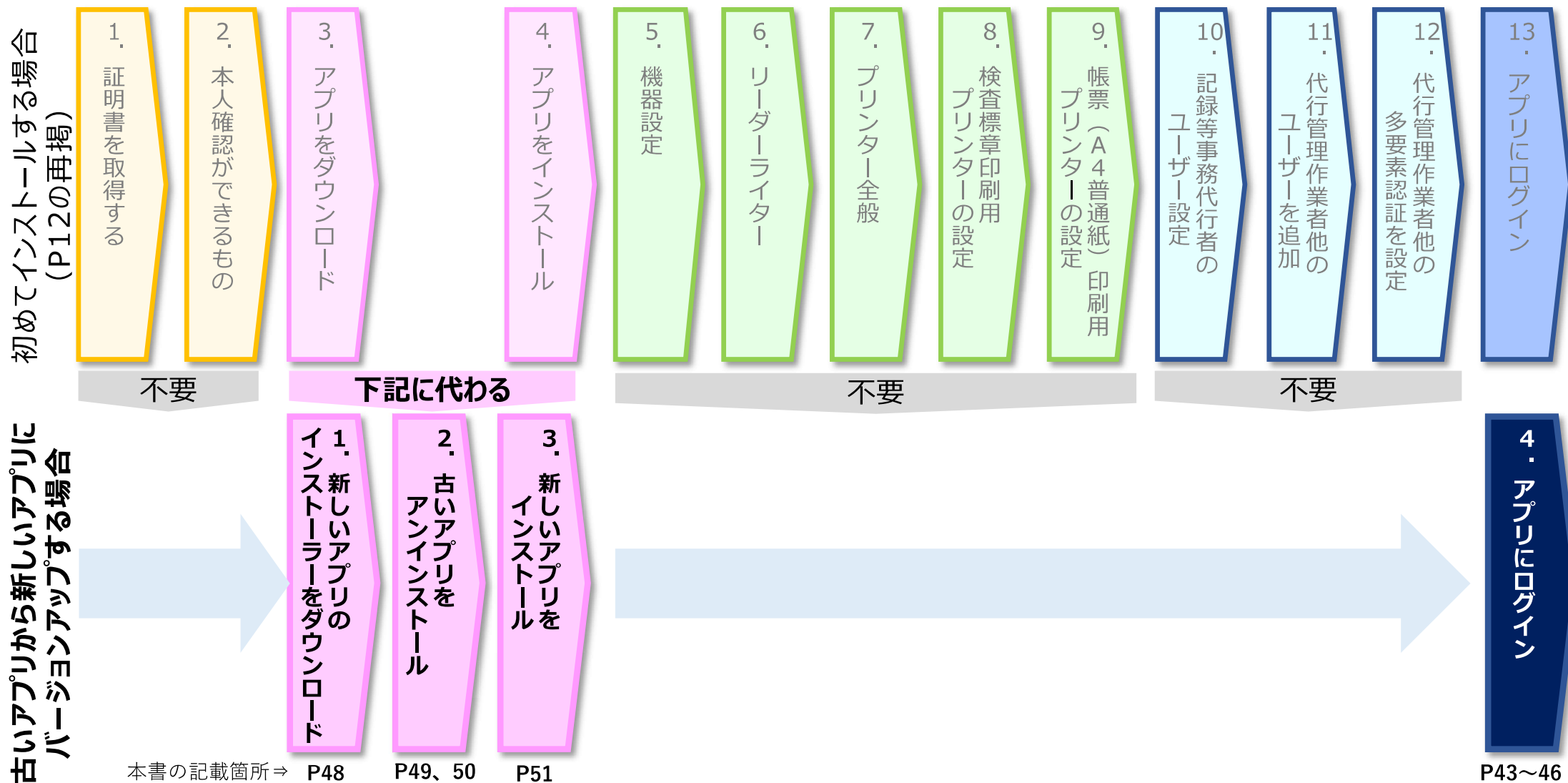


古いアプリから新しいアプリにバージョンアップする流れ

古いバージョンのアプリをインストールしている端末に対して、新しいバージョンのアプリをインストールする流れを以下に示します。

端末に初めてインストールする場合の流れ（上段）と対比し、バージョンアップの流れを下段に表します。



記録事務代行ポータル

1.新しい記録事務代行アプリのインストーラーをダウンロードする

ポータルサイト上部にあるアプリダウンロードのボタン (①) をクリックし、**これまでアプリに記録等事務代行者のユーザーでログインする際に用いていた「ユーザーID」と「パスワード」**を入力しログイン認証が成功するとアプリダウンロードページに移動します。

記録事務代行アプリのダウンロード (②) をクリックすると、アプリのインストーラー (WinKjd.Installer_X.X.X.msi) をダウンロードすることができます。

同じ画面上にアプリのバージョン番号が表示されます (④) ので番号をメモとして残しておいてください。(インストーラーのファイル名称にも「X.X.X」という同じバージョン番号が表記されます。)

また、操作説明書のダウンロードボタン (③) をクリックすると、操作説明書のPDFファイルをダウンロードすることができます。

(操作説明書は、ポータルサイトトップページの一番下にあるリンクからもダウンロードができます。)

【注意】 記録事務代行アプリのダウンロードは、記録等事務代行者のユーザーである必要があります。代行管理作業や代行作業のユーザーではログインできず、ダウンロードできません。

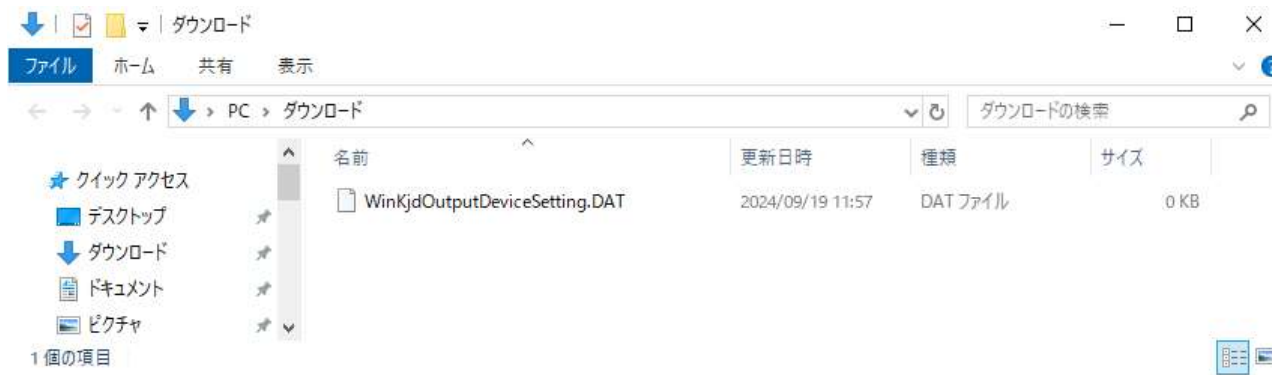


記録事務代行ポータルのアプリダウンロードページ

記録事務代行ポータル

2.古いアプリをアンインストールする

古いアプリをアンインストールする前に、記録事務代行アプリを利用している各OSユーザのダウンロードフォルダに機器設定情報ファイル（WinKjdOutputDeviceSetting.DAT）が保存されていることを確認願います。



【注意】

- ・機器設定情報ファイルについては、ファイル移動やファイル削除しないでください。
- ・機器設定情報ファイルを移動または削除し、機器設定情報ファイルがダウンロードフォルダに存在しない場合は、記録事務代行アプリを閉じ再度アプリを起動することで機器設定情報ファイルが再作成されます。
- ・機器設定情報ファイルがダウンロードフォルダにない状態で、P50 アンインストール作業を実施すると再度ICカードリーダーライターやプリンターの機器設定が必要になりますのでご注意ください。

記録事務代行ポータル

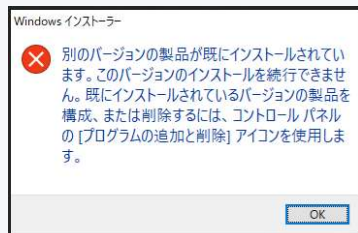
2.古いアプリをアンインストールする

WindowsOSの「設定」(①)から「アプリと機能」(②)を選択すると、インストールされているアプリの一覧が表示されます。その中から「記録事務代行アプリ」を選択し(③)、「アンインストール」ボタン(④と⑤)をクリックすると、アンインストールが実行されます。

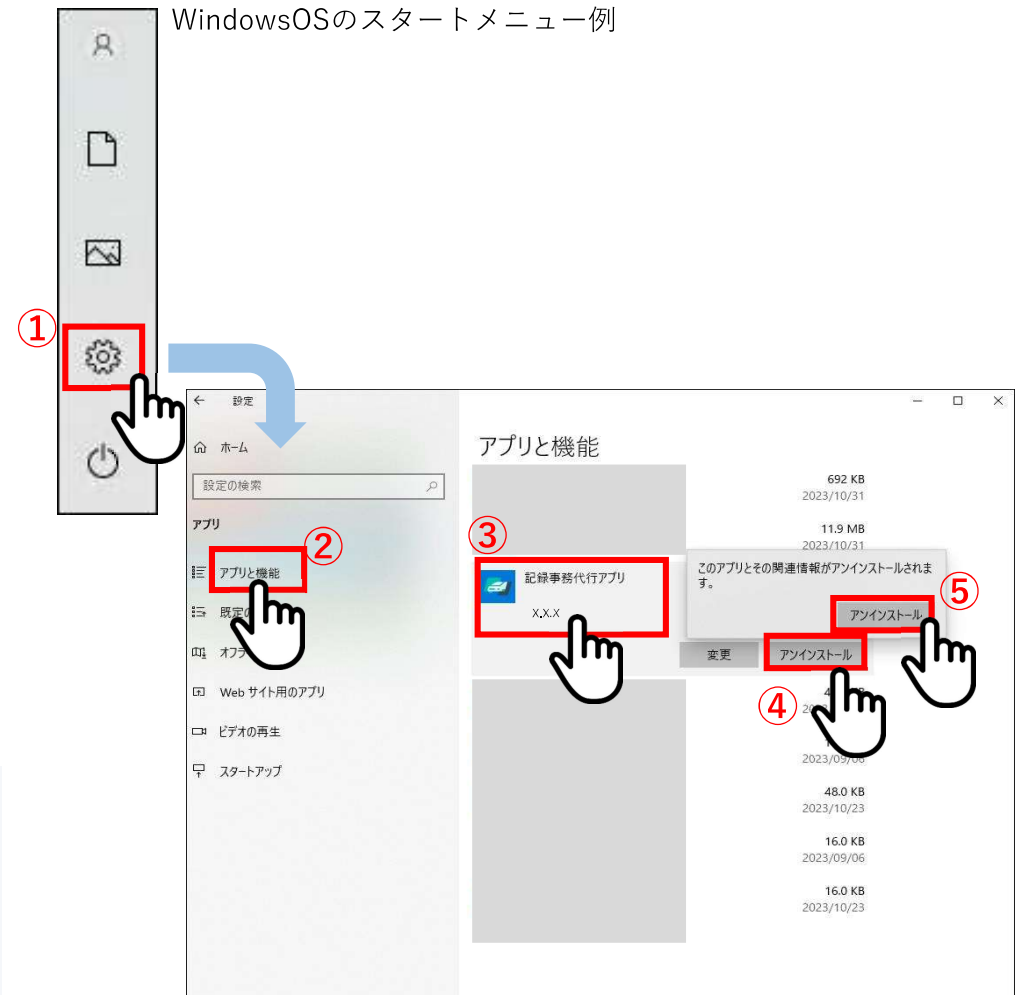
アンインストールが完了すると、アプリと機能の一覧から「記録事務代行アプリ」の表示が消えますので、表示されていないことを確認してください。

(合わせて、デスクトップ上のアイコンとWindowsスタートメニューからも、「記録事務代行アプリ」が消去されます。)

【注意】古いアプリのアンインストールをせずに、新しいアプリのインストールはできませんので、アンインストールを確実に行ってください。



古いアプリをアンインストールしなかった場合に表示されるエラー画面の例



WindowsOSの「設定」と「アプリと機能」の画面

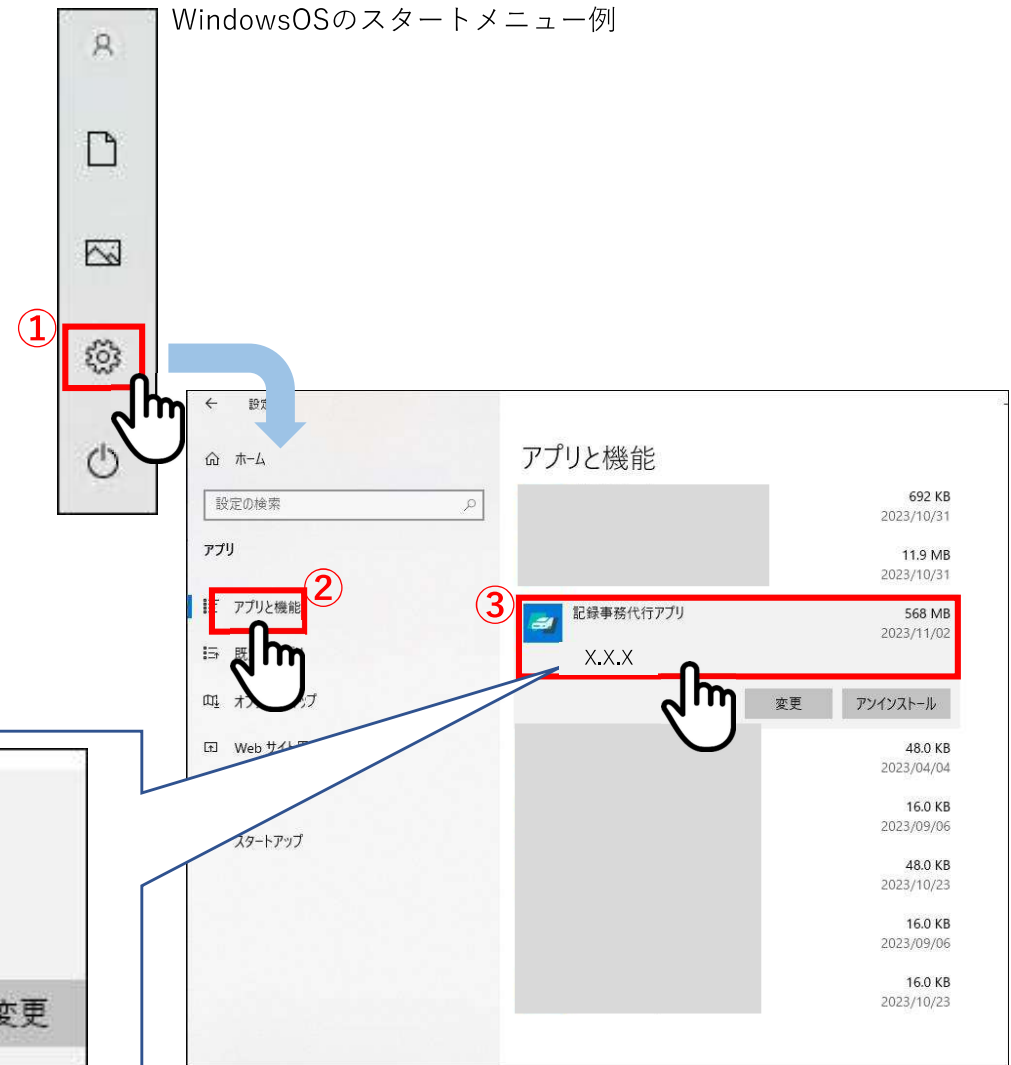
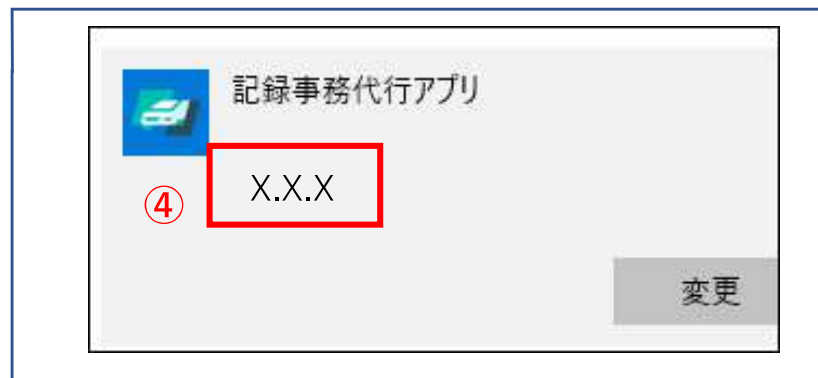
記録事務代行ポータル

3.新しいアプリをインストールする

P17に記載の「4. アプリをインストールする」と同じ手順で新しいアプリをインストールします。

新しいアプリのバージョン番号は、記録事務代行ポータルのダウンロードページとインストーラーのファイル名に表記しております。

インストール完了後に、WindowsOSの「設定」 (①) から「アプリと機能」 (②) を表示し、「記録事務代行アプリ」 (③) をクリックにより表示されたバージョン番号 (④) が新しい番号になっていることをご確認ください。



WindowsOSの「設定」と「アプリと機能」の画面

記録事務代行ポータル

新しいアプリのバージョンアップが完了します。

ICカードリーダーライターとプリンターの機器設定やアプリにログインするために登録したユーザーは、バージョンアップしたアプリのログインに対しても引き続き使用できます。

4. アプリにログイン

P43～46に記載の「**13. アプリにログインする**」と同じ手順でログインできることを確認してください。